

2020年8月期3Q 決算説明資料

OUR MISSION

Something Newを生み出す

日常に&を届ける

というMissionのもと、
常に新しい領域への挑戦を推進し、
人々の生活を豊かにする
サービスを提供してまいります。



Smartphone APP



など

..... ×



IoT



など

+

Something New!!!

目次

- 1 通期業績予想の見通し
- 2 2020年8月期3Q業績ハイライト
- 3 Smartphone APP事業
- 4 IoT事業
- 5 APPENDIX

1

通期業績予想の見通し

業績予想の修正について

2020年6月2日に公表した**修正後の業績予想のとおり進捗**。
現時点において再度の業績予想の修正は不要と判断している。

(単位：百万円)	2020年8月期 期初計画	2020年8月期 修正計画	差異
売上高	5,999	2,861	△3,138
営業利益（損失）	580	△248	△828
経常利益（損失）	560	△300	△860
当期純利益（損失）	390	△220	△610

※1 百万円未満は切り捨てしております。

※2 一部借入に係る手数料などによる営業外費用増加を含みます。

※3 &AND HOSTELの休業期間の損失は特別損失として計上予定であり、修正計画に反映済み。

4Qの見通し

(単位：百万円)	2020年8月期 通期予想	2020年8月期 3Q累計	進捗率
売上高	2,861	2,217	77.4%
営業利益 (損失)	△248	△45	—
経常利益 (損失)	△300	△88	—
当期純利益	△220	△101	—

4Qの見通しについて

売上高

- 3Qと同水準にて進捗の見込み。
- ただし、コロナ禍の先行きが不透明であることから、&AND HOSTELの収益やtabii等の宿泊領域の新規顧客獲得による収益はほぼゼロで見込んでおり、今後の状況によっては変動する場合があります。

営業利益

- 新規アプリリリースに伴う**人員増強による人件費増加**と**広告宣伝費の積極投下**により、赤字幅拡大の想定で業績予想を策定。
- ただし、上述の売上の推移によっては、変動する場合があります。

※ &AND HOSTELの休業期間の損失（28百万円）と一部アプリ等の減損損失（16百万円）が特別損失として計上されております。

今後の方針及びリスク事項について

2020年6月2日開示資料より

サービス領域	事業を取り巻く環境及び事業の現況	今後の方針
<p>&AND HOSTEL</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自社開発型物件は、コロナ禍の影響により、買い手の資金手当の都合で当期売却が困難。 既存店舗は一時営業休止中。状況を見て7月頃再開予定。 ただし、インバウンド需要が急速に低減し、少なくとも今後1年はコロナ禍以前までの回復は難しい見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> 自社開発型物件の販売活動は継続。 短期的にはビジネス利用を含む国内需要の獲得をメインに方針転換。 テックを活用した3密回避を徹底し、安心して泊まれる施設とする (innto, tabiiの活用)。また、長期契約サービスの開始や一部客室のリモートワーク利用などの社会的なニーズに応えつつ収益化を図れるような用途変更を実施。 <p>⇒中長期的な方針については、新型コロナウイルスによる影響に関して先行き不透明な状況が続いているため、慎重に検討を進めております。</p>
<p>tabii</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設の経営状況が悪化し、短期的には設備投資を抑制する傾向。 一方で営業再開のため、3密回避や運営コスト削減が必須となり関心が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入計画の遅れはあるものの、3密回避や運営コスト削減が必須となり、より関心は高まっていくものと想定されるため、現時点では今後の方針に変更はございません。 広告による収益化に向けた開発も引き続き継続。
<p>マンガアプリ</p>	<ul style="list-style-type: none"> MAUは巣ごもり需要の影響もあり好調 (P5において直近MAUの推移を参考として記載)。 2Q時点で広告ARPUの低下傾向がみられたが、海外メディエーション活用などにより一定の効果が見られていた。 しかし、リワード単価の引き下げ及びコロナ禍の影響による広告業界の市況悪化が想定され、広告ARPUの押し下げが見込まれる。 	<p>※2Qからの方針を継続。</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外メディエーションの導入・運用による、広告ARPUの収益最大化。 ROAS運用等による課金ARPUの更なる向上。 <p><プロモーション積極投下の下期方針について></p> <ul style="list-style-type: none"> 業績の下方修正を行ったものの、MAUは順調に推移しており、引き続きユーザー獲得の機会と捉えているため、方針変更はせず、当初計画どおり実行予定。

リスク事項

- ① 緊急事態宣言が解除されたものの、いまだに先行き不透明な状況が続いており、今後、第2波の発生など新型コロナウイルスによる影響がさらに悪化した場合には、修正計画に影響を及ぼす可能性があります。
- ② 所有する自社開発物件について、収益性低下など資産価値の低下による評価減リスクに晒されており、修正計画に影響を及ぼす可能性があります。これらが判明した場合には、速やかに開示いたします。

「今後の方針」に対する進捗

サービス領域	今後の方針	進捗
&AND HOSTEL	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社開発型物件の<u>販売活動は継続</u>。 ・ 短期的にはビジネス利用を含む国内需要の獲得をメインに方針転換。 ・ テックを活用した3密回避を徹底し、安心して泊まれる施設とする（innto, tabiiの活用）。また、長期契約サービスの開始や一部客室のリモートワーク利用などの社会的なニーズに応えつつ収益化を図れるような用途変更を実施。 <p>⇒中長期的な方針については、新型コロナウイルスによる影響に関して先行き不透明な状況が続いているため、慎重に検討を進めております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>7月1日より全店舗営業再開。変化するライフスタイルに合わせた、新たな価値提供を進めていきます。</u> <p><短期的な稼働率向上施策></p> <ol style="list-style-type: none"> ① オフィス家具のサブスクサービスを提供する(株)subslifeと協業し、一部店舗において、<u>快適なオフィス家具を導入したりリモートワーク利用を開始。</u> ② 空室率低下の施策として、<u>長期宿泊利用者向け</u>の複数のサービス提供手段を導入。 <p>※来期については、<u>自社開発物件の新規保有はしない方針</u>（現在保有している物件の販売活動は継続）</p>
tabii	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入計画の遅れはあるものの、3密回避や運営コスト削減が必須となり、より関心は高まっていくものと想定されるため、現時点では今後の方針に変更はございません。 ・ 広告による収益化に向けた開発も引き続き継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3密回避、オペレーション効率化によるコスト削減の需要およびIT助成金認定ツールとしての問い合わせ等により<u>引き合いは回復基調</u>。
マンガアプリ	<p>※2Qからの方針を継続。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外メディエーションの導入・運用による、広告ARPUの収益最大化。 ・ ROAS運用等による課金ARPUの更なる向上。 <p><プロモーション積極投下の下期方針について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業績の下方修正を行ったものの、MAUは順調に推移しており、<u>引き続きユーザー獲得の機会と捉えているため、方針変更はせず、当初計画どおり実行予定</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要アプリへの海外メディエーションの導入が、6月に完了。収益への貢献は4Q以降。広告市況全体の悪化の一方、<u>広告ARPUの減少傾向は6月で下げ止まり、7月以降改善する見込み</u>。

② 2020年8月期 3Q業績ハイライト

3Q振り返り

新型コロナウイルス感染症の影響を受けるも、
売上高はYoY+37%の増収！

Smartphone APP

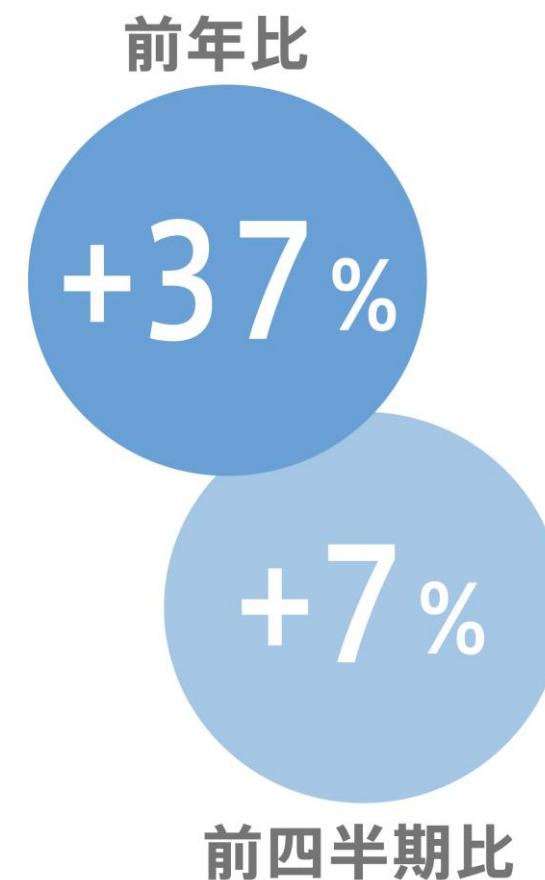
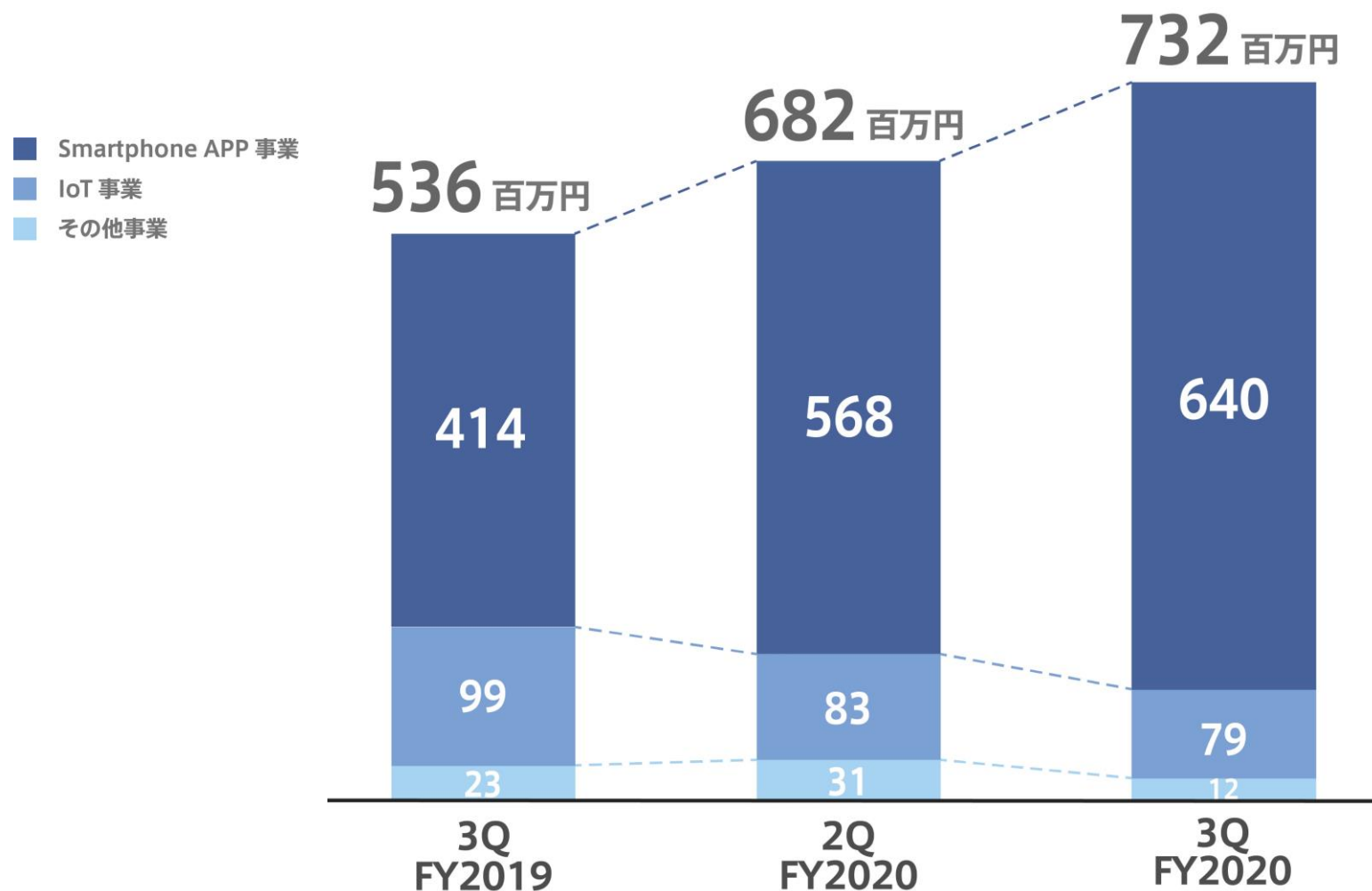
- マンガアプリ売上は過去最高四半期売上高更新。
- マンガアプリのMAU過去最高更新、ARPUは横ばいで推移。
- ユーザー獲得は順調に進んでおり、広告宣伝費の投下は計画どおり実行。

IoT

- IoT事業全体が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、&AND HOSTEL企画開発案件やtabii導入が進まず、売上は前四半期同水準。
- 入居者コミュニケーションアプリ「totonono」の開発完了（8/1正式リリース）。

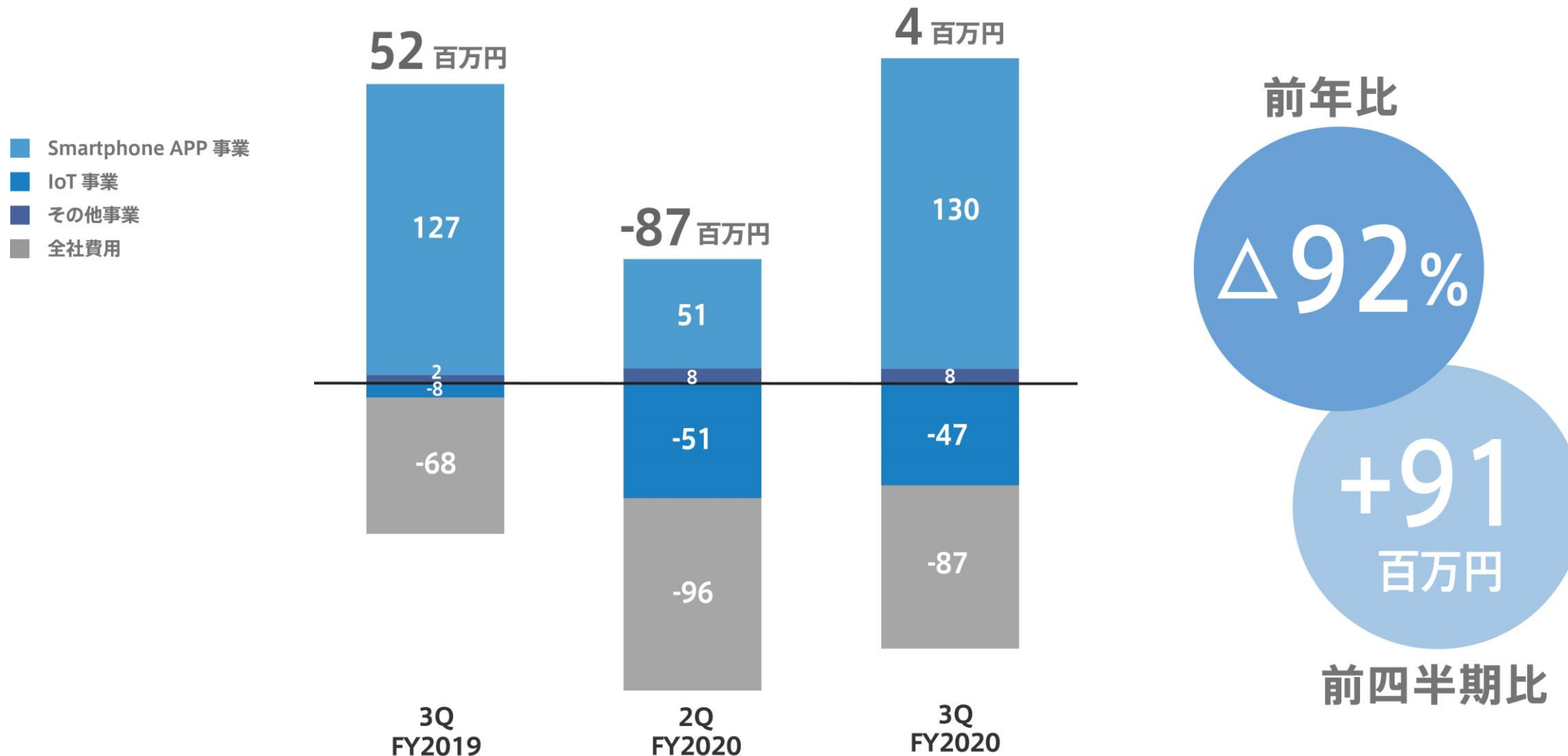
売上高の推移

マンガアプリ売上が堅調に推移し、Smartphone APP事業の売上が拡大。IoT事業については、新型コロナウイルスによる影響を受け、売上が減少。



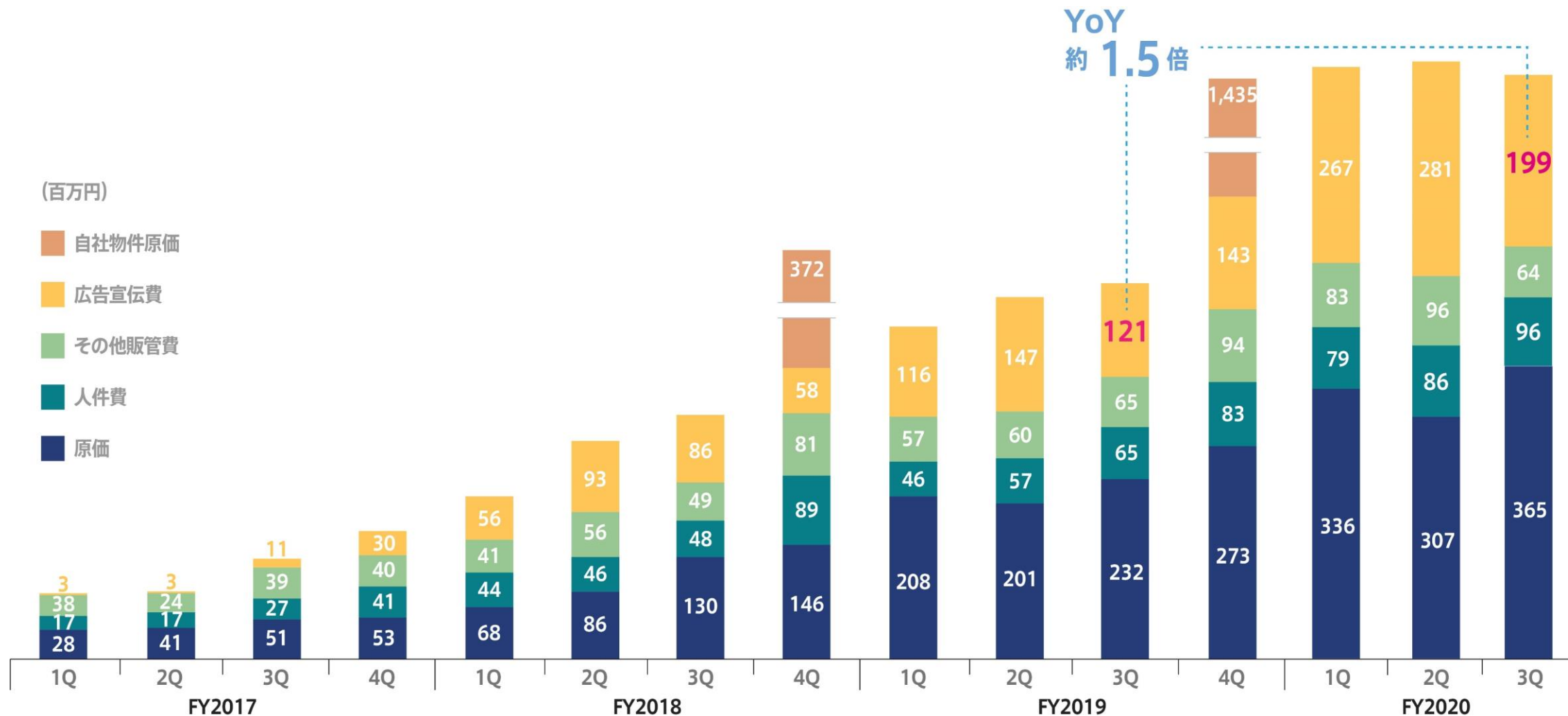
営業利益（セグメント利益）の推移

マンガアプリ広告収益減、広告宣伝費の積極投下を継続しており、またIoT事業においては&AND HOSTEL企画開発案件の遅延・中止、tabii導入が進まず、結果として営業利益4百万円で着地。



コスト構造

前年同期比約1.5倍の広告宣伝費を積極投下。前四半期と比較するとやや落ち着いたが計画どおりの進捗。マンガアプリの新規リリースや運用強化により原価（開発人件費）が増加。



財務基盤、所有物件の評価減について

手元流動性の確保

(単位：百万円)

2020年5月末

現金及び預金	671
借入金（短期、一年内、長期含む）	3,446
自己資本比率	29.4%

- 借入金のうち、約2,700百万円が&AND HOSTEL自社保有物件の取得による借入。物件を早期売却し借入負担を解消するため、継続して販売活動中。
- 2020年6月末に銀行借入により300百万円の調達を実施。
- 新型コロナウイルスの長期化リスクを想定した資金確保及びAfterコロナにおける事業投資に備え、追加でコミットメントライン又は当座貸越による300百万円程度の調達枠を確保予定。
- 物件取得による借入については返済期間が長期にわたり返済負担の影響は大きくないため、追加の借入も含め資金確保はできている状況。

所有物件の評価減

- 当3Q末時点において、不動産鑑定評価を実施するとともに、収益性の低下による評価減の要否を慎重に検討した結果、不要と判断。
- 当期末にむけて、現時点においては収益性が著しく低下するような事象、環境の変化は識別しておらず、評価減は不要の方向で検討。

3 Smartphone APP事業

Smartphone APP事業 提供カテゴリー

01

& AND COMICS

出版社オリジナルタイトルを多数揃えた出版社のオリジナルマンガアプリ



提供：スクウェア・エニックス



提供：白泉社



提供：集英社



提供：ビーグリー



提供：小学館



提供：日本文芸社



提供：集英社



提供：アムタス

02

& AND APPS

ソーシャルゲームの攻略及び掲示板アプリ『最強シリーズ』やその他新規アプリ



当社マンガアプリの特徴



毎日更新方式



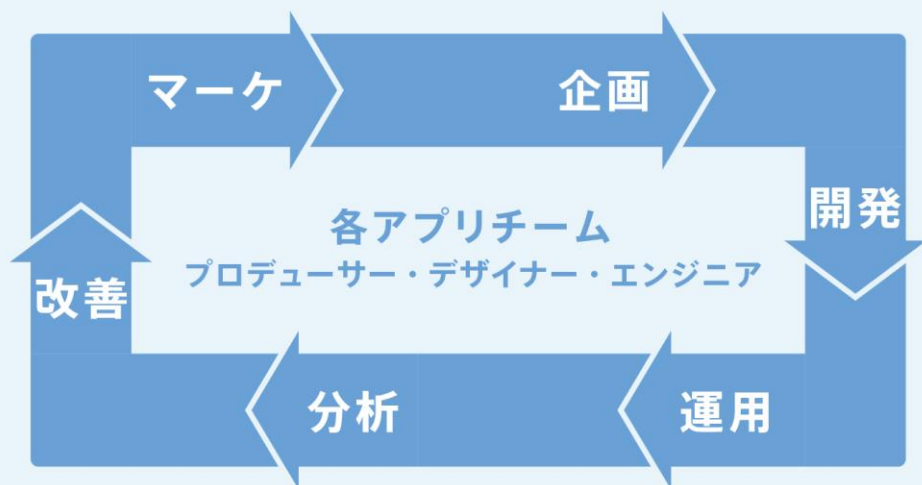
1話ごとのレンタルと
単行本購入方式



課金と広告収益に
よるマネタイズ

当社独自の特徴(強み)

アプリ毎にチームを組成。企画開発から運用、マーケティングまでワンストップサービスを提供。アプリグロース体制の確立と圧倒的な実績。



出版社独自のブランドを打ち立てここでしか読めない出版社オリジナルタイトルを多数提供。

SQUARE ENIX.

マンガUP!
オリジナル連載

集英社

マンガMee
オリジナル

小学館
SHOGAKUKAN

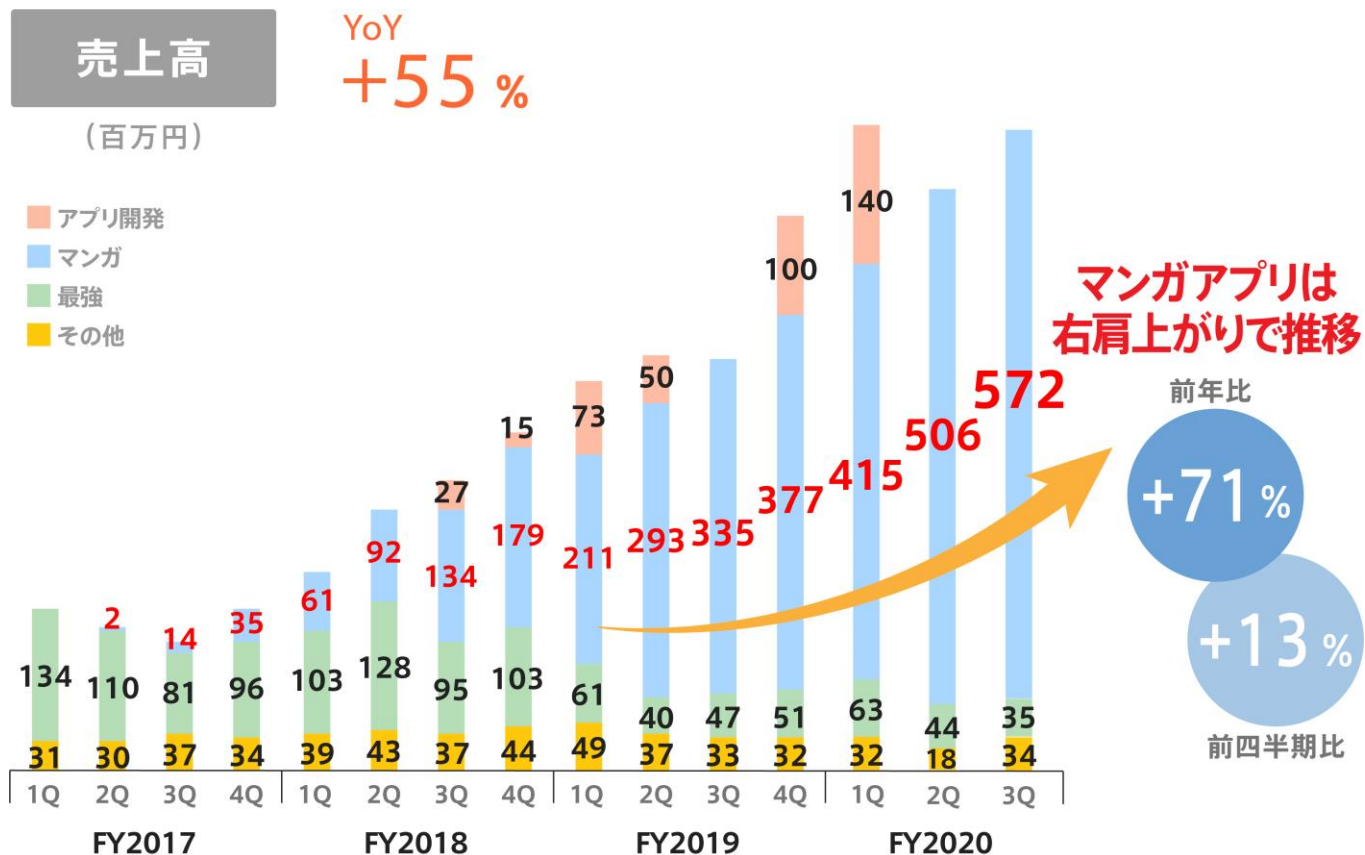
うぇぶり
オリジナル

白泉社

マンガPark
オリジナル作品

売上高/営業利益推移 (四半期)

マンガアプリ売上は修正計画に対して計画どおり推移しており、売上高（開発売上を除く）は、過去最高を達成。営業利益は広告収益減、広告宣伝費の積極投下により横ばいで推移。

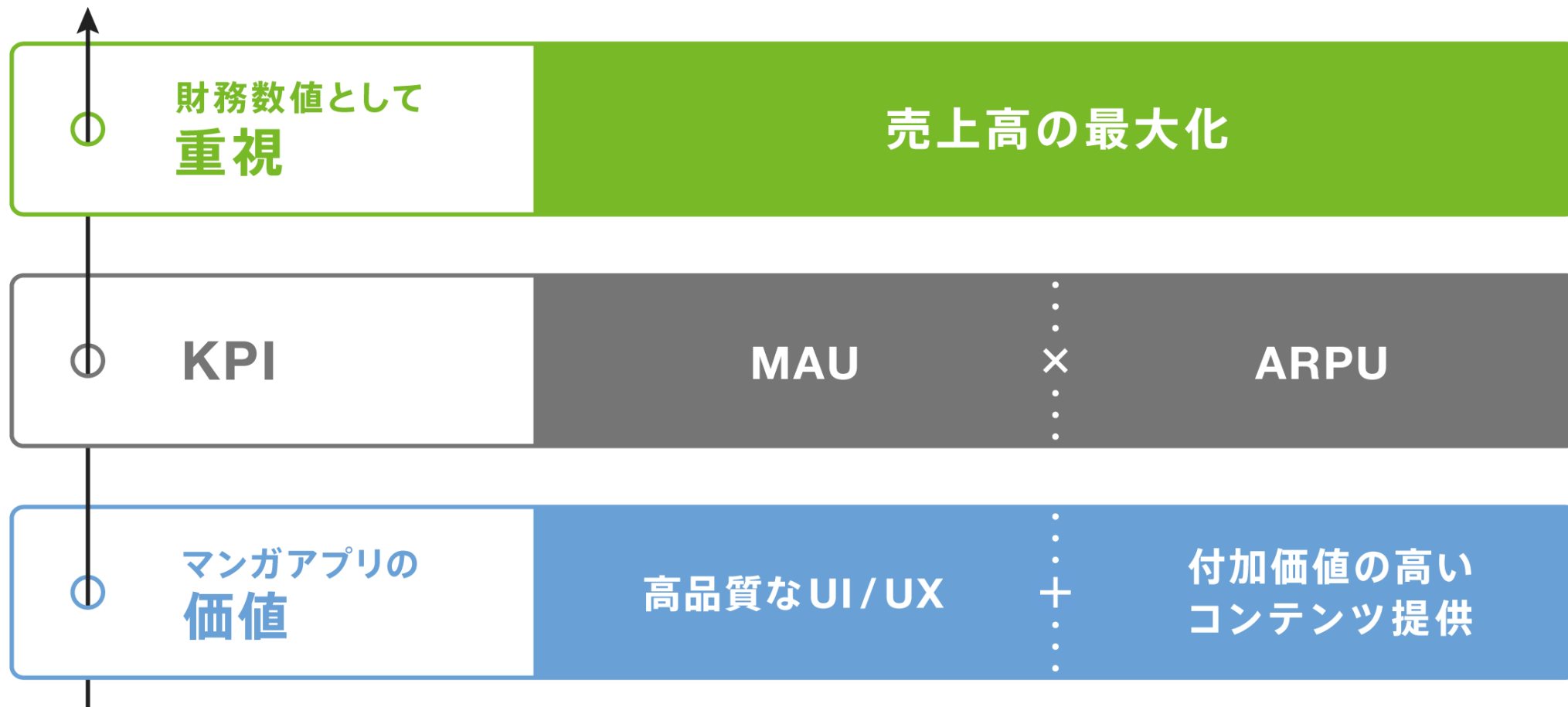


※アプリ開発は、初期開発に関する制作費等



マンガアプリ成長の源泉 (KPI)

MAUとARPUの2つのKPIを成長させることにより、売上高の最大化を実現する。



※1 Monthly Active Userの略称であり、1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。

※2 Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。

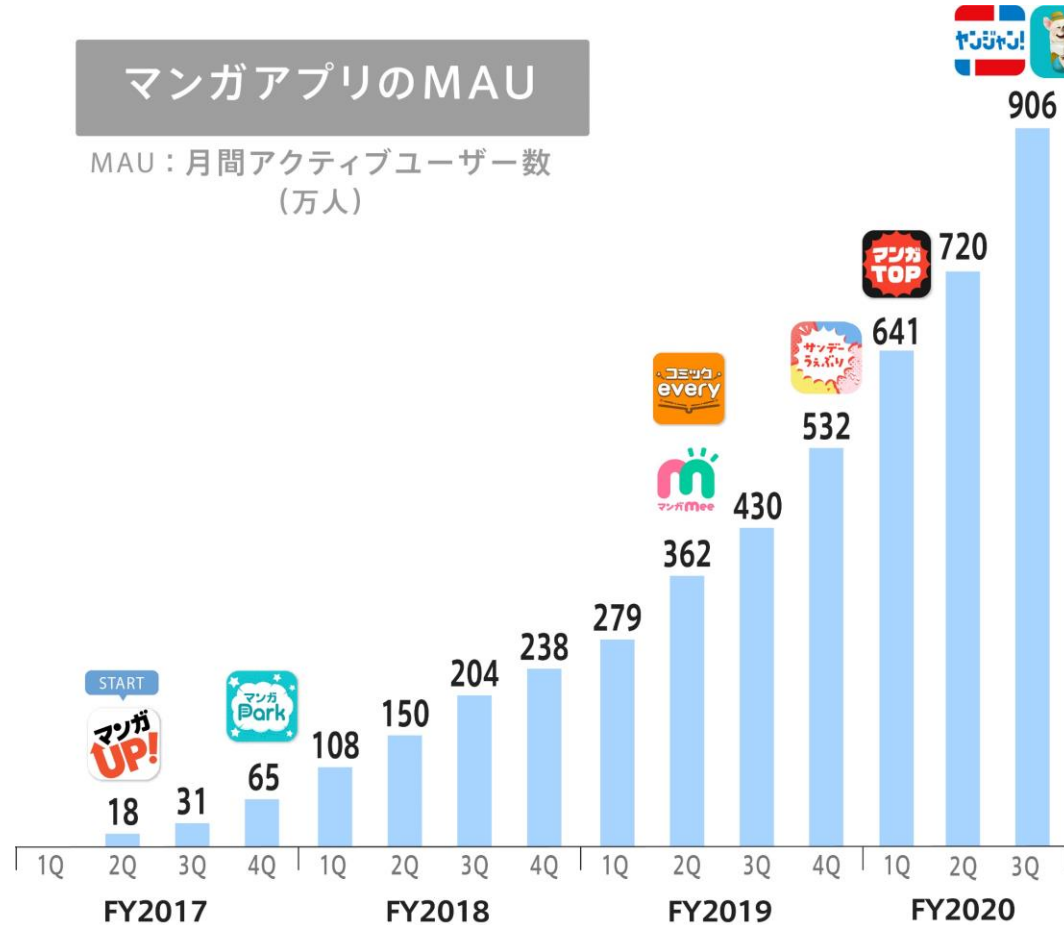
マンガアプリKPIの推移

MAUは堅調に推移。

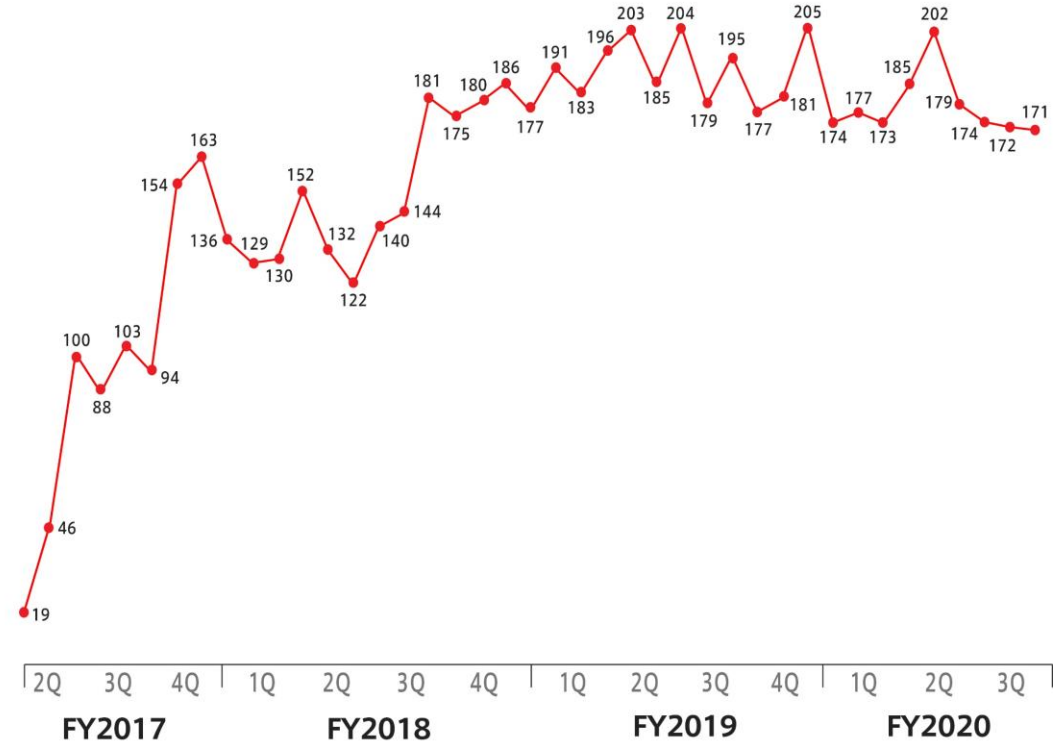
ARPUは横ばいで推移しており、広告ARPUの改善・課金ARPUの更なる向上に注力。

マンガアプリのMAU

MAU：月間アクティブユーザー数
(万人)



マンガアプリのARPU

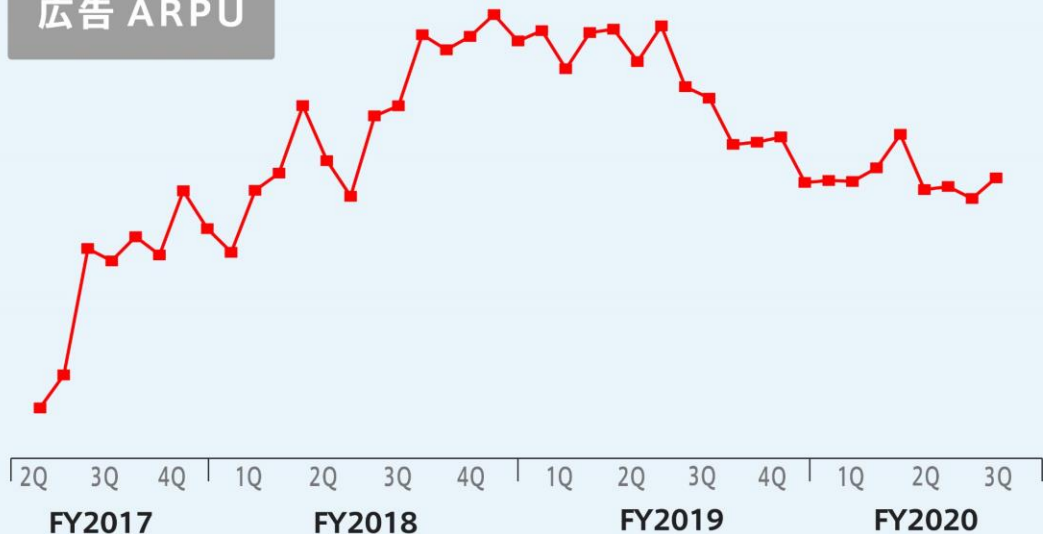


※マンガアプリのMAUの各四半期における平均値を採用

※2017年3月のマンガUP!のARPUを100として指数化
以降は、新規含む複数アプリのARPUの単純平均値を指数化
リリース1ヶ月未満のアプリは集計から除外

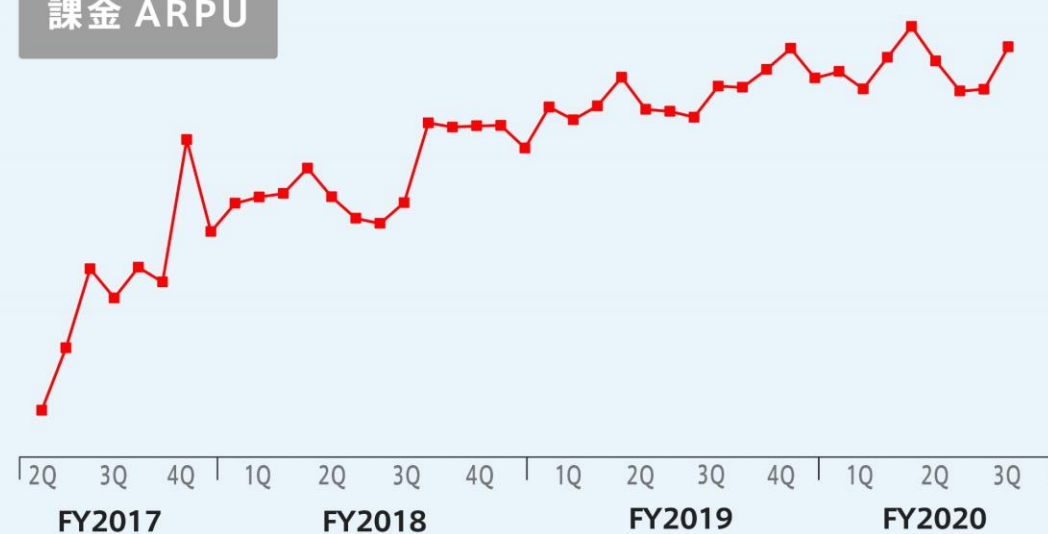
マンガアプリKPIの推移

広告 ARPU



- 主要マンガアプリへの海外メディエーションの導入が6月でほぼ完了。ARPUの減少傾向は下げ止まり。
- 広告市況悪化やリワード単価引き下げの影響を受けながらも、7月以降改善見込み。

課金 ARPU



- ROASを取り入れた運用強化や課金率の高いコンテンツ等の投入による課金ユーザー増加やARPPU向上施策に注力しているものの、巣ごもり需要、無料作品公開による無料ユーザー増加の影響により横ばいで推移。

マンガアプリの圧倒的No.1へ

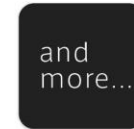
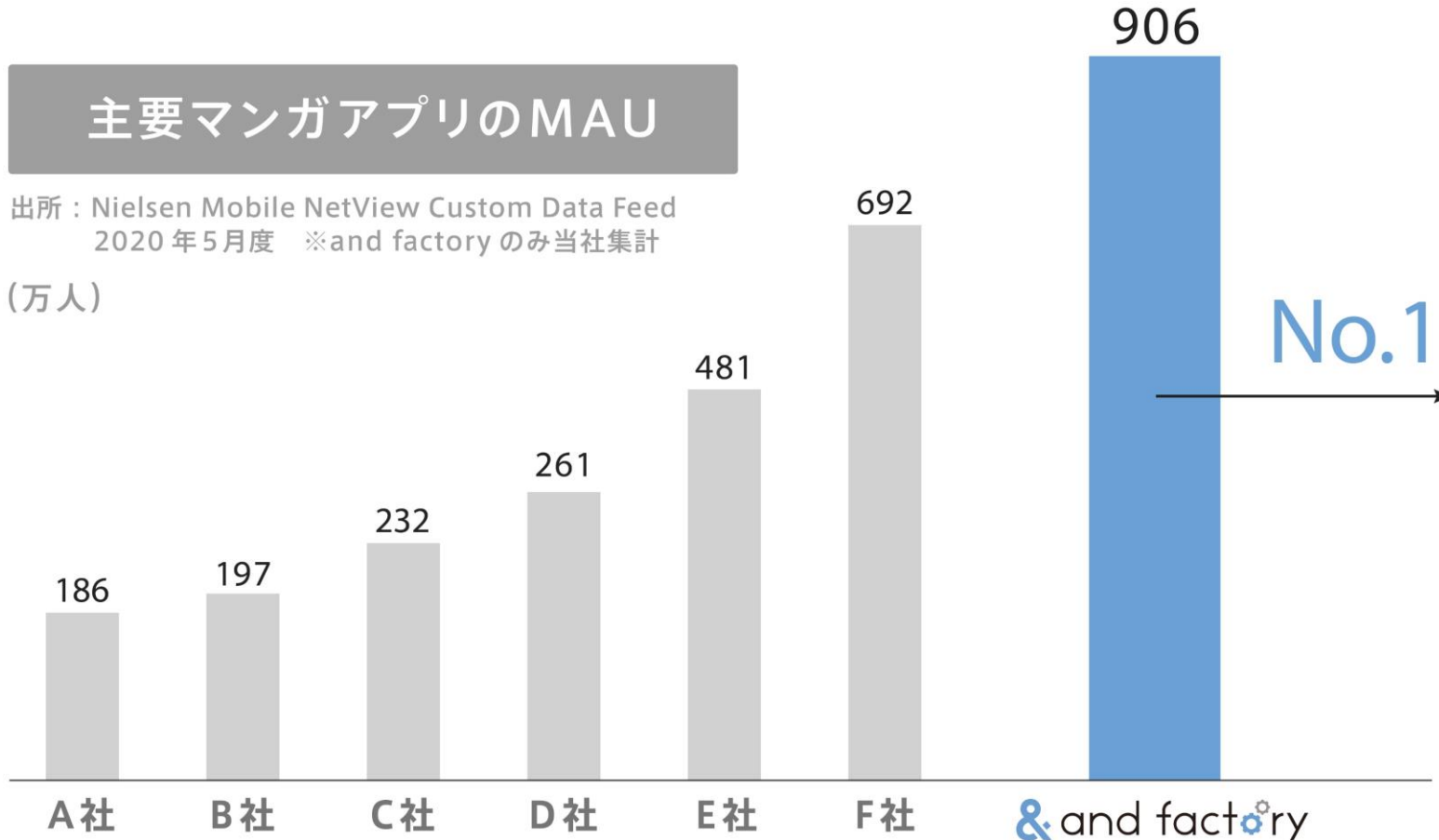
当3Qで8つのアプリを運営。

1,000万MAUに迫る勢いで堅調に推移。

主要マンガアプリのMAU

出所：Nielsen Mobile NetView Custom Data Feed
2020年5月度 ※and factoryのみ当社集計

(万人)



and more...



amūtūs



集英社



日本文芸社
NIPPONBUNGEISHA



小学館
SHOGAKUKAN



Beagle



集英社



白泉社



SQUARE ENIX.

株式会社アムタスと共同開発「めちゃコミックの毎日連載漫画アプリ」をリリース
マンガアプリ「めちゃコミックの毎日連載漫画アプリ」をリニューアル!



めちゃコミックの

毎日連載マンガアプリはココがすごい!



総合書店型ならではの! **400誌以上**が集結した
幅広いラインナップ&圧倒的な作品数

オリジナル作品、多数配信中!

1日1話ずつ無料で読める作品も多数!
該当作品も続々追加

4 IoT事業

IoT事業 提供カテゴリー

01

& AND & HOSTEL

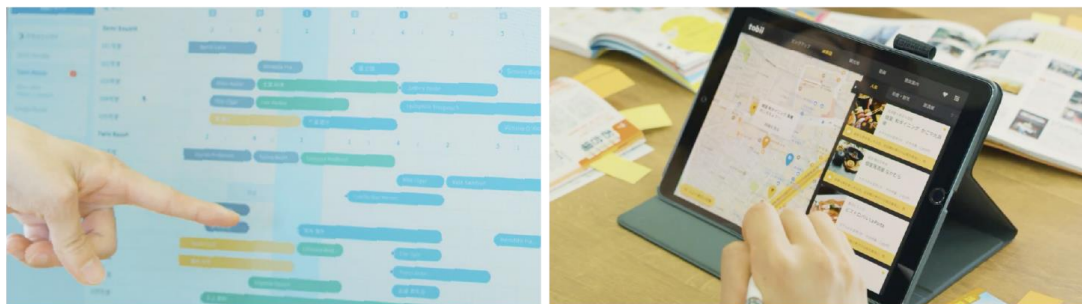
IoTデバイスが体験できるスマートホテル『&AND HOSTEL』



02

& AND & STAY

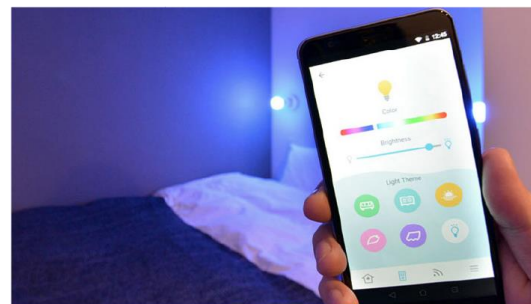
宿泊予約システム『innto』
客室タブレット『tabii』



03

& AND & IoT

複数のIoTを一括で操作可能
IoTプラットフォーム『&IoT』



①IoTスマートホステル「&AND HOSTEL」

IoTなどのテクノロジーを駆使し、近未来のIoT空間を楽しめる体験型宿泊施設として、宿泊自体をひとつの観光目的として価値創造しています。



②客室内タブレットサービス「tabii」

省コストで「業務効率化」と「付加価値向上」を実現。



tabii



コスト削減

館内案内やパンフレット、ご案内資料を各客室ごとに配布する紙の資料必要がなくなります。配布の手間だけでなく、印刷コストや刷り直しの作業を削減、客室美化にもつながります。



業務効率化

日頃お客様からよく受ける質問をtabiiに自由に登録できます。館内案内や周辺の飲食店、観光地など全て多言語でご案内出来るので、内線による問い合わせを減らすことが出来ます。



付加価値向上

お部屋での滞在をより楽しく快適に。ちょっとした時間も楽しめるエンタメ動画や多言語ニュース、アクティビティ予約などtabiiがあるからこそ特別な時間を過ごせます。

②客室内タブレットサービス「tabii」

基本機能

館施設の情報や近隣のご案内をはじめ、動画やLIVEニュースのご視聴など様々な機能が揃っています。

施設情報



館内案内



宿泊約款



Wi-Fi



お知らせ



アンケート



Q&A

近隣案内



観光地案内



飲食店案内



周辺情報

アクティビティ
予約

飲食店予約

QRコード
持ち出し

エンタメ・ 便利機能



動画閲覧

多言語
LIVE ニュース

盗難防止

多言語対応
(英)

利用レポート



アラーム



天気・時刻



自動履歴削除

オプション機能

施設様のニーズに合わせて内線電話やIoTリモコンなど魅力的な機能を追加できます。

オプション 機能

多言語対応
(繁・簡・韓)

内線電話

IoT
リモコン

混雑状況



清掃管理

VOD
(開発中)

③宿泊管理システム「innto」

予約や施設の情報を一元的に管理して業務効率化を実現。



初期導入費0円! 低コストだから無理なく始められる!



直感的で使いやすい画面設計! 教育もトレーニングも不要!



クラウド型だから、いつでもどこからでもアクセスできる!

③ 宿泊管理システム「innto」

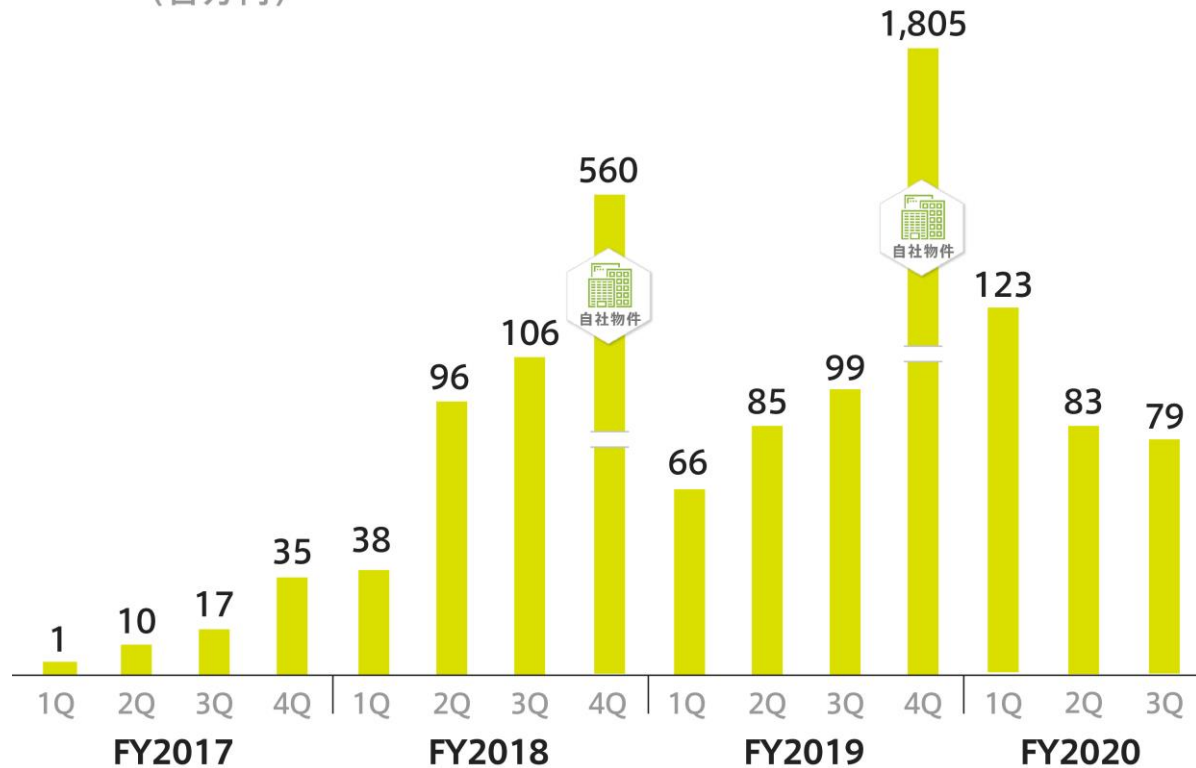


売上高/営業利益推移（四半期）

新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた&AND HOSTEL企画開発案件の遅延・中止、tabii新規獲得が進まず、売上高は前四半期と同水準、営業利益は赤字で着地。

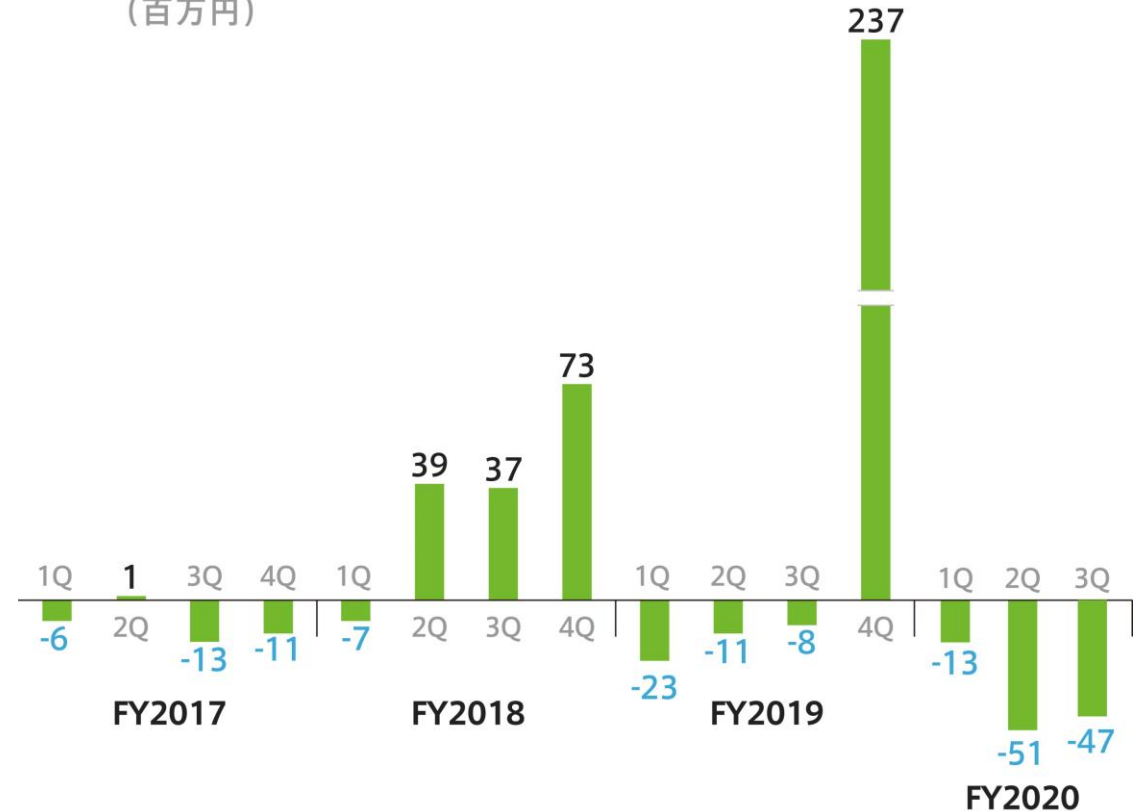
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



事業ハイライト

&AND HOSTELは、当社が運営受託していない一部店舗を閉鎖（業績への影響はなし）。
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、inntoは解約施設が増加し減少、tabiiは微増に留まる。

実績

**&AND
HOSTEL**

10 店舗

前四半期末比
△2 店舗

- オーナー変更に伴うブランド移管等により、一部店舗を閉鎖（業績への影響はなし）
- 自社開発物件2件について、計画どおり完成予定であるが、現在の宿泊業界の稼働状況を鑑み、すぐには開業せず、時期を慎重に判断して開業予定。

innto

268 施設

前四半期末比
△63施設

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた施設も多く、解約数が増加。
- 緊急事態宣言明け後は、3密回避やオペレーション効率化によるコスト削減の意識が高まり、スマートチェックイン機能を導入する施設、問い合わせが増加傾向。

tabii

4,250 台

前四半期末比
+413台

- 緊急事態宣言中もオンラインによる営業活動を実施しているものの、宿泊施設が新型コロナウイルス感染症による影響を受け設備投資への意思決定が消極的な状況。
- 一方で、緊急事態宣言明け後は、3密回避やオペレーション効率化によるコスト削減からtabii需要が高まっており、問い合わせも多数。回復基調となっている。

※&AND HOSTELは2020年5月末時点での開業予定店舗を含む

※innto及びtabiiは2020年5月末日時点の契約締結ベース

コロナ禍における &AND HOSTELの運営

変化するライフスタイルに合わせた、新たな価値提供を進めて参ります。



● 7月1日より、全店舗営業再開

安全衛生管理に配慮しながら、tabii設置による3密回避・スタッフ工数削減なども実現し、全店舗で営業を再開。

● 快適なテレワークスペース提供開始

(株)subslifeと協業し共用ラウンジや客室の一部をワークスペースとして提供。オフィスチェアやサブモニターを導入することで、より快適な執務環境を実現。

● 長期宿泊利用者の取り込み

従来の集客チャンネルに加え、1ヶ月以上の長期滞在者向けの集客チャンネルを導入。空室率の低下・新規顧客獲得を見込む。

入居者コミュニケーションアプリ「totono（トトノ）」正式リリース

不動産管理会社の業務効率と、入居者の利便性を向上するコミュニケーションプラットフォーム。
新型コロナウイルスの影響により非対面の入居者対応ニーズが高まり、問い合わせ多数。

Topic 1

クライアントによるβ版テストを経て、8月1日に正式リリース

Topic 2

大手賃貸物件管理基幹システムとのデータ連携を開始

Topic 3

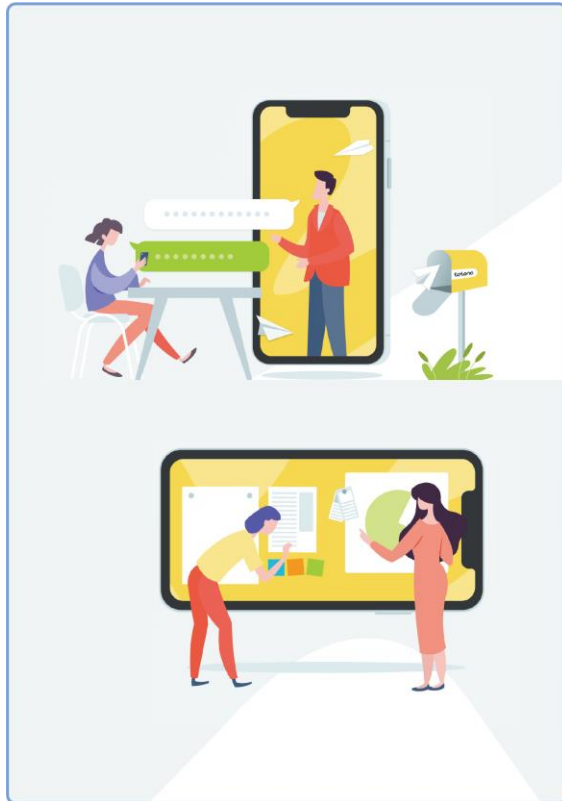
全国主力賃貸管理会社への導入、続々決定！



totonno

入居者コミュニケーションアプリ「toto no（トトノ）」正式リリース

『toto no』が届けるサービス



■チャットやFAQで業務改善

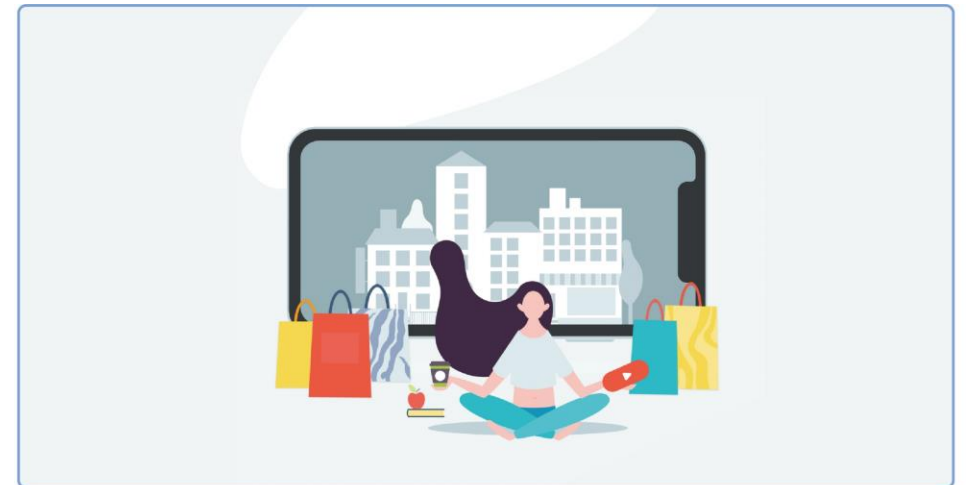
入居者は必要な時、いつでも管理会社に問い合わせることができます。さらに簡単な困りごとはFAQで解決。

■知りたいことはすべてアプリで確認

家賃や契約期間、管理会社の情報など、入居者が知りたかったことがアプリから閲覧できます。

■届けたい情報は瞬時に

入居者へのお知らせは、管理画面からすばやく通知。建物毎に表示できる掲示板や、物件単位でお知らせする機能で、届けたい入居者に適切な情報を送信。



■お得な情報を配信

入居者にとって生活に便利なサービスをパッケージングし、アプリでお届けします。

■入居中サービスを提供

掲示板機能を活用して、管理会社のキャンペーンや地域のお得な情報を管理会社が主体的に発信。

■入居者満足度の向上

物件+αの価値として、入居者の困りごとを解決したり、入居中の便利なサービスを届けるスマサポ入居者アプリで満足度を向上。管理会社の差別化を実現します。

Appendix

2020年8月期3Q BS増減比較

&AND HOSTEL自社開発物件の取得に伴い、販売用不動産及び長期借入金が増加し、流動資産及び固定負債が増加。

(百万円)

	2019年8月期末	2020年8月期2Q末	2020年8月期3Q末	増減比較 (前期末比)
流動資産	2,452	4,365	5,026	2,574
現金及び預金	1,352	554	671	-681
固定資産	587	801	781	194
資産合計	3,040	5,167	5,807	2,767
流動負債	1,094	1,173	1,320	226
固定負債	147	2,247	2,777	2,630
負債合計	1,242	3,420	4,098	2,856
(有利子負債)	551	2,811	3,446	2,895
資本金	543	549	549	6
資本剰余金	542	548	548	6
利益剰余金	713	648	611	-102
自己株式	0	0	0	0
純資産合計	1,798	1,746	1,709	-89

2020年8月期3Q PL実績

(百万円)

	2019年8月期3Q	2020年8月期3Q	前年同期比	2020年8月期 予想(修正後)
売上高	1,531	2,217	145%	2,861
売上高成長率	—	44.8%	—	-27.0%
Smartphone APP事業	1,228	1,858	151%	—
IoT事業	250	286	114%	—
その他事業	51	71	139%	—
営業利益(又は損失)	155	-45	—	-248
営業利益率	10.1%	—	—	-8.7%
経常利益	130	-88	—	-300
経常利益率	8.5%	—	—	-10.5%
四半期(当期)純利益	88	-101	—	-220
四半期(当期)純利益率	5.7%	—	—	-7.7%

ディスクレーマー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。